

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道334号 峰浜道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局									
起終点	自：北海道斜里郡斜里町朱円 至：北海道斜里郡斜里町豊倉	延長	5.0km											
事業概要	<p>一般国道334号は羅臼町を起点とし、美幌町に至る延長約12.2kmの幹線路線である。</p> <p>峰浜道路は、斜里町本町と宇登呂地区を結ぶ唯一の幹線道路であり、北海道初の世界自然遺産への推薦が決定した知床半島への観光アクセス道路の安全性・確実性の向上を支援する。特に、冬期における地吹雪対策を実施している。また、地域住民の生活道路としての役割が大きく、地域経済の活性化等を支援する延長5.0kmの事業である。</p>													
昭和60年度事業化	H-年度都市計画決定	昭和61年度用地着手	昭和61年度工事着手											
全体事業費	約50億円	事業進捗率	7.2%	供用済延長	3.9km									
計画交通量	6,600台/日													
費用対効果分析結果	<table border="1"> <tr> <td>B/C-1 (事業全体)</td> <td>1.2</td> <td rowspan="2"> 総費用：12/63億円 (事業費：12/63億円 維持管理費：0/0億円) </td> <td rowspan="2"> 総便益：27/75億円 (走行時間短縮便益：27/75億円 走行費用減少便益：0/0億円 交通事故減少便益：0/0億円) </td> <td rowspan="2"> 基準年：平成16年 </td> </tr> <tr> <td>B/C-2 (従事業)</td> <td>2.3</td> </tr> </table>	B/C-1 (事業全体)	1.2	総費用：12/63億円 (事業費：12/63億円 維持管理費：0/0億円)	総便益：27/75億円 (走行時間短縮便益：27/75億円 走行費用減少便益：0/0億円 交通事故減少便益：0/0億円)	基準年：平成16年	B/C-2 (従事業)	2.3						
B/C-1 (事業全体)	1.2	総費用：12/63億円 (事業費：12/63億円 維持管理費：0/0億円)	総便益：27/75億円 (走行時間短縮便益：27/75億円 走行費用減少便益：0/0億円 交通事故減少便益：0/0億円)				基準年：平成16年							
B/C-2 (従事業)	2.3													
感度分析の結果	<p>事業全体について感度分析を実施</p> <table border="1"> <tr> <td>交通量変動</td> <td>B/C=1.3 (交通量+10%)</td> <td>B/C=1.1 (交通量-10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費変動</td> <td>B/C=1.1 (事業費+10%)</td> <td>B/C=1.3 (事業費-10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間変動</td> <td>B/C=1.0 (事業期間+20%)</td> <td>B/C=1.3 (事業期間-20%)</td> </tr> </table>					交通量変動	B/C=1.3 (交通量+10%)	B/C=1.1 (交通量-10%)	事業費変動	B/C=1.1 (事業費+10%)	B/C=1.3 (事業費-10%)	事業期間変動	B/C=1.0 (事業期間+20%)	B/C=1.3 (事業期間-20%)
交通量変動	B/C=1.3 (交通量+10%)	B/C=1.1 (交通量-10%)												
事業費変動	B/C=1.1 (事業費+10%)	B/C=1.3 (事業費-10%)												
事業期間変動	B/C=1.0 (事業期間+20%)	B/C=1.3 (事業期間-20%)												
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 災害への備え（現道等の防災点検箇所等が解消される、対象区間が「緊急輸送道路」としての位置づけあり） 安全な生活環境の確保（当該区間が通学路であって、歩道がない区間に歩道が設置される） 個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される、拠点開発プロジェクトを支援） 物流の効率化の支援（農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上がみこまれる） <p style="text-align: right;">他5項目に該当</p>													
関係する地方公共団体等の意見	<p>網走支庁管内は第一次産業、加工産業および観光産業が基幹をなしており、物流の効率化、空港・港湾とのアクセス性の向上のため、3市20町3村で構成される網走支庁管内総合開発期成会より毎年事業促進の要望を受けている。</p>													
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>知床国立公園の観光客の入り込み数は増加傾向であり、また、2004年1月に知床半島は道内初の世界自然遺産に推薦が決定した。</p>													
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成16年度末時点で、用地進捗率99%、事業進捗率は7.2%、3.9kmを供用している。</p>													
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見直し等	<p>工事を促進し、平成20年代前半に完成を予定</p>													
施設の構造や工法の変更等	<p>設計手法の見直し（橋梁設計の見直し、凍上抑制層の見直し）や建設副産物対策（再生合材の使用）によりコスト縮減を図っている。</p>													
対応方針	事業継続													
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>													
事業概要図														

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。